

## 第4回千葉市観光振興検討会議 意見交換要旨

1 開催日時 令和7年8月22日(金) 午前10時00分～午前11時20分

2 場 所 千葉市役所高層棟 2階 XL会議室 201・202

3 次 第

(1) 開会

(2) 意見交換

項目1 課題解決に必要とされる事業規模

項目2 使途の明確化の方向性・見直し時期

項目3 他自治体の宿泊税導入状況

項目4 まとめ

(3) 閉会

4 意見交換内容

### 項目1 課題解決に必要とされる事業規模

(事務局) 課題解決に必要とされる事業規模について、資料をもとに説明を行った。

#### ■委員

- ・ 論点がだいたい整理されてきた印象である。新聞報道によると、県の宿泊税交付金の問題について、浦安市のようにホテルが多く大きな収益を上げている市からは「それでは納得できない」といった声が出ているようである。県として宿泊税を導入する動きの見通しはどうか。その点が決まらないと、市もなかなか動けないと思うので、そのあたりの見通しを伺いたい。
- ・ 事業規模の部分で『効果的な情報発信』の課題に対して『ビッグデータの収集と分析』に約2,000万円とあるが、この収集と分析は具体的に誰が行い、どう分析して、どのようにフィードバックするのかを伺いたい。
- ・ それから、『MICEの推進』の課題に対し『海浜幕張駅周辺の環境整備』とあるが、以前から言われているように幕張地区は大きなイベントが数多く開かれる一方で、周りに飲食店が少なく、結局は来場者がそのまま帰ってしまうという問題がある。これは市の都市計画とも関わってくる話だと思うが、来場者を引き止める仕掛けとして、例えば

居酒屋横丁のようなものでもいいが、そうしたスポット的な整備を進めるような計画があるのかどうかを伺いたい。

#### →事務局による回答

- ・ まず、県の動きについてだが、基本的なスタンスとしては、当然ながら県と一緒に進めていく必要があると考えている。県の条例制定の見込みについて、現時点では詳細を伺ってはいないが、新聞報道等や県と話す中で県が様々な調整をしていることは確認している。条例が施行されなければ前に進まないため、施行時期がいつになるのかも含め、今後もしっかりと県と連絡調整を行いながら進めていかなければならないと考えている。
- ・ 次に、『ビッグデータ』についてだが、方法として、携帯キャリアが持つ位置情報をもとに傾向を把握し分析ができる。例えば、来訪者が 1 都 3 県から多く来ているのか、それとも首都圏以外から来ているのかといった点を分析することも可能である。こうしたデータを市だけでなく、市内の宿泊事業者や観光事業者とも共有し、活用していきたいと考えている。
- ・ 最後に、幕張エリアに関する都市計画について、この場で詳細な説明はできないが、来訪者にとってはチェーン店だけでなく千葉市独自の文化を感じられるような飲食店が求められており、ただ「来てください」と言うだけではなく、まちの魅力もあわせて提供していくことが必要で、これは大きな課題の一つであり、市全体での取組みが求められると認識している。

#### ■委員

- ・ 令和 6 年度の観光関係予算は約 5.8 億円とのことだが、令和 7 年度もほぼ同額という理解でよいか。

#### →事務局による回答

概ね同程度である。

#### ■委員

様々な事業費を積み上げた金額が既存の 1 年間の予算規模と同程度ということで、相当な事業量の増大が見込まれると思う。これまで千葉市が十分に取り組めてこられなかった部分で、新たな施策あるいは既存の施策を拡充する事業を短い時間でよく練られたと感じる。一方で、単純に規模が倍になるということは、観光部門だけでなく、市役所全体としての組織体制や人員体制の整備も必要になる。そうした点も含めて十分に検討を進めていただきたい。

#### →事務局による回答

おっしゃるとおり、観光事業は非常に裾野が広く、様々な分野に関わってくるものである。1つ取り組んで終わりではなく、多数の事業を展開し、その効果を都度検証し修正しながらトライ・アンド・エラーで進めていく必要がある。そのためマンパワーも必要であることは十分認識しているので、庁内でしっかりと検討していきたい。

#### ■委員

- ・ ここに記載されている施策はどれも素晴らしく、ぜひ実現していただきたい。しかし 3、40 年くらい前から「なぜ千葉市には人がとどまらないのか」「なぜそれぞれの場所がバラバラなのか」という議論を観光協会等でも行ってきた記憶がある。市外や県外の大規模なレジャー施設のある都市に比べると、千葉市は停滞してしまったように思う。だからこそ、市には力を込めて取り組んでほしい。
- ・ 神奈川県でも湯河原では宿泊税が始まると聞いている。神奈川県では、湯河原、箱根、横浜で県全体の 8 割、9 割を占めるため、そこから集めたお金（宿泊税）を県がバラバラに使うことへの反発も強く、県全体ではなかなか導入に進めない事情もあるようだ。私自身の考えとしては、浦安市で集めたお金を房総全体に配分するくらいでよいと思っている。もう少し真剣に、独裁的に進めていかないと、具体化していくのは難しいと思う。
- ・ TICAD9 という国際会議が横浜で開催されたが、こういった大規模な国際的なイベントを千葉市でも開催できるような都市に早くならなければならない。
- ・ 宿泊税の導入は今後他市町村でもどんどん始まるので、県と歩調を合わせるだけでなく、市町村がやるべきであり、先行して進めてもよいのではないか。ぜひ市がやれることをやっていただけるとありがたい。

#### →事務局による回答

ご指摘のとおり、古くからの課題であるという面は確かにある。幕張メッセができてから 35 年経つが、交通を含め解決の難しい課題は残っている。そのような中で、今回県が宿泊税を導入する動きがあり、市としても県と一体で進めることが適切だと判断し、検討を始めたものである。行政の役割をしっかりと認識し、多方面からご意見をいただきながら議論を進めていきたいと考えている。

#### ■委員

- ・ 課題は色々あるが、観光においては観光コンテンツが基本であり、これが魅力的でなければ人は訪れない。課題に「観光コンテンツの造成と磨き上げ」とあるが、MICE もコ

ンテンツの一部である。千葉市が他と差別化できる最も強いコンテンツは MICE であると思う。税が導入するとなった場合、メリハリをつけて重点的に使うことも必要ではないかと感じた。別の委員からも「30 年前と同じ議論をしているのではないか」との指摘もあったが、今回の宿泊税導入によって、新しいチャンスが出てくる可能性があるため、これまで動かせなかったことを一歩でも前に進めていければよいと思う。

- ・ 実際に宿泊税を取るとなると、徴収者となる宿泊施設は、現地で現金を扱うことにもなり相当の負担となる。奨励金や報奨金のように宿泊施設に手数料が入る仕組みもあるが、現場にはかなり苦勞をかけることになる。課題に対する取組み事業例として「宿泊施設の魅力向上」と挙げているが、宿泊施設の魅力向上により宿泊者数を増やし、市内で使ってもらうお金を増やすことに繋がる。宿泊施設も観光コンテンツの 1 つとして、魅力を向上することで、宿泊施設に還元するという意味もある。MICE と併せて、千葉市の宿泊施設は魅力的で、「あそこに泊まりたい」と思ってもらえるよう力を入れてもよいのではないかと思う。

#### →事務局による回答

- ・ 「MICE の推進」については、現状約 2 億円投じている。これは千葉市の強みもそこであると認識しているのと同時に、市民の皆様からも期待されている分野であると思っているため、この強みをさらに伸ばせるよう、引き続きしっかり取り組んでいきたい。
- ・ 宿泊税は宿泊事業者が特別徴収義務者となり、ご指摘のとおり、事業者の方々には負担をお願いすることになる。事業者の意見を丁寧に伺い、修正すべき点や反映すべき点をしっかり踏まえて進めていきたい。

#### ■委員

- ・ 課題の「観光コンテンツの造成と磨き上げ」戦略①「新しい観光コンテンツの造成」の取組み事業例として「ワーケーションの構築」とあるが、ワーケーションで成功している事例が少なく需用が見込めない。既存のシェアオフィス、在宅、喫茶店等で十分対応できている。
- ・ 「MICE の推進」について、大規模イベントの誘致が近隣関係施設含め経済効果が大きく影響するため、誘致の為の施策や大型施設の改修、アクセス改善などに多くの事業費を充てるべきだと考える。
- ・ 「市内観光における回遊性と県内観光のゲートウェイとしての機能強化」の戦略②「県内観光のゲートウェイ機能の強化」について、「駅前及び駅前観光案内所の充実」とあるが、現在成田空港内の観光インフォメーションも撤退が相次ぎ、実態として多くは両替場所や携帯レンタル等の質問で、観光地などを尋ねる方はほとんどいないため、そもそも観光案内所は不要と思われる。紙のパンフレットを持ち帰る方も激減している。

SNS 等における情報配信に傾注すべき。

- ・ 上乗せ税額については、県 150 円、市 150 円が、非常にわかりやすく事業規模的にも適している。1 人当たり 150 円が望ましい。
- ・ 千葉県と同様に修学旅行は課税対象とすべき。例外を設けず、学校における修学旅行の他、オリエンテーション、自然教室、課外宿泊活動などの学校行事もすべて課税対象とすべきである。

## 項目 2 使途の明確化の方向性・見直し時期、項目 3 他自治体の宿泊税導入状況

### ■委員

- ・ 宿泊税の見直し期間が 5 年とあるが、3 年とする場合もあるのか。
- ・ 1 人 150 円という金額だが、私の考えでは、本来は定率で取るべきだと思う。1 万円の人と 10 万円の人が同じ宿泊税というのは、どうしても釈然としない。個人的には定率がベストだと思うが、大変なので業界としては誰一人賛成しない。
- ・ 拙速はいけませんが、あまり遅くならないよう、制度を整え充実し、始めていただきたい。

### →事務局による回答

3 年でやるかどうかは、ないことはない。これからいろいろな方の意見を伺いながら、最終的に決めていきたい。

### ■委員

- ・ 宿泊税の検証をして公表していくことは本当に大事だと思う。そのための人員についても、市としてきちんと組織を整え、体制をつくっていただきたい。
- ・ 税額について、他都市の状況を見ると、インバウンドが多く高級ホテルが立ち並ぶ地域では税額が高く設定されている。前回の宿泊事業者アンケート結果などを見ても、本市の場合はそうした条件はあまりないため、千葉県 150 円に加えて本市 150 円の合計 300 円というのが妥当なのではないか。

### ■委員

- ・ 使途の明確化は必須事項だと思う。全国で宿泊税が広がっている状況なので、そこまで文句を言う人はいないかもしれないが、そのような人が出てくる可能性は否定できない。だから特に導入直後は、「千葉市は観光客のためにこう使っていますよ」という宿泊者向けのリーフレットをホテルや旅館で配ってもらう等の工夫が必要だと思う。

- ・ 私の持論だが、市役所のみでは各セクションがバラバラに動き出すのではなく、千葉市の観光全体をコーディネートする総合プロデューサーのような人が必要ではないかと思う。この予算は足りないからこっちに回したらいい、というようなフレキシブルな運用ができた方がよいのではないか。

#### ■委員

- ・ 使途の明確化は非常に大切だと思う。特に導入にあたっては、まず「いつから、いくら取ります」という情報を導入前にしっかり出すことが重要である。
- ・ もちろん税金なので払わないわけにはいかないが、宿泊施設で初めて知ると戸惑うし、苦情につながる可能性もある。そうなると宿泊事業者の方の負担も増えてしまう。そのため、「千葉市と県でこれだけ取ります、いつから取ります」という情報を前広に徹底して発信していただきたい。
- ・ 市のホームページで公表する方法もあるが、千葉市に来る観光客が市のホームページを見るとは限らない。来る人にどういう手段で伝えるかを工夫し、いろいろな方法をミックスして周知していくことが大切だと思う。
- ・ さらに導入後も「皆さまからいただいた税金をこのように使いました」と、宿泊者や千葉市に興味がある人に伝わるよう、多様な方法で報告していくことが必要である。

### 項目 4 まとめ・その他

#### ■委員

- ・ 千葉市はふるさと納税額が少なく、むしろ流出してしまっている状況である。課題解決の取組事例として、「駅前及び駅前観光案内所等の充実、物販の検討」と挙げられているが、ふるさと納税を盛り上げて知名度を高めたモノを物販につなげる、といったように観光施策とリンクさせて取り組んだ方が、市全体の利益につながるのではないか。

#### ■委員

- ・ 仮に宿泊税が導入されれば、これまでも意見があったように、宿泊事業者の負担は相当大きくなると思われる。まずは宿泊事業者に対する丁寧な説明と支援をお願いしたい。
- ・ 今後観光コンテンツの磨き上げを進めるにあたっては、市内の商店、飲食店、各種事業者との連携体制が重要になると思う。宿泊事業者のみならず、交通事業者や飲食店など幅広い事業者の声を聞き、事業構築から制度の見直しに至るまで取り組んでいただきたい。

## ■委員

- ・ 千葉県は、ランキングでは大体良くて 17 位程度であり、47 都道府県の中で良くも悪くも中庸である。千葉は良い県であるが、どうしても弱い。宿泊税を導入するのであれば、個の力を束ね、強い千葉市、強い千葉県を目指して確固たる意志で取り組んでいただきたい。発展につながる大きな取り組みを期待している。

## ■委員

- ・ 宿泊税は受益者負担であり税金である。一度取り始めればやめることはなかなかできない。全国的に時限付きで導入している事例はない。導入を開始すれば未来永劫、千葉市は宿泊税を徴収することになる。そのため、その税金を有意義に、潔白に使っていただきたい。千葉市が「本当に素敵になった」と言われ、神奈川県など他都市ではなく「やはり千葉だ」と観光客に選ばれるような使い方をしていただきたい。
- ・ 県との調整も大変であるが、宿泊事業者の負担は非常に大きい。導入にあたっては事業者への丁寧な説明と合意形成を十分に行ったうえで進めていただきたい。

## ■委員

今回が最後の委員会である。委員の皆様からは本当に貴重なご意見を多数いただいた。単に市の観光予算が増えるということではなく、事業規模は現在の 2 倍となるため、人手の確保も含めて考えなければならない。庁内調整を含めて、うまく導入し、有効に活用していただけるよう、市の皆様の今後の努力に期待する。

## ■今後のスケジュール

- ・ これまでの意見をまとめ報告書とする。
- ・ 報告書は、個別に各委員と調整し後日提出する。